

人材開発事業（研修のポイント①）



1 未来へ前進する力の育成

DXに関連する知識の習得を促進するため、構成団体のニーズを踏まえて基本研修のDX関連科目を充実させる。また、多様な選択研修及び特別研修で更なるスキルアップを図り、未来へ前進する力の育成を図る。

（1）基本研修のDX関連科目の充実

拡充

新任者を対象とする以下の階層別基本研修において、
DX関連科目を新たに導入

- ・ 中級基礎
- ・ 中級実践
- ・ 主査級



（2）選択研修及び特別研修のDX関連科目の充実

kintone（キントーン）実践研修（選択・市町村） **新**

自分発！チームで進める自治体DX（特別・共同） **新**

BPR研修（選択・共同） **新**

SNS時代における広報戦略（特別・共同）

AI等デジタル技術の活用と行政サービス改革（特別・共同）

ICTツール利活用のための考え方（特別・共同）



人材開発事業（研修のポイント②）



2 他者と協働する力の向上

地域や組織における多様性を学ぶほか、組織の内外で円滑な関係性を築くことのできるコミュニケーション力を強化し、他者と協働できる力を強化する。

窓口・クレーム対応力向上 (選択・市町村) **新**

ダイバーシティ・コミュニケーション (選択・共同)

チーム力向上 (選択・共同)

チームを支える！自分力向上 (選択・共同)

自己表現力向上 (選択・共同)

説明力・聞く力向上 (選択・共同)



3 社会福祉協議会と連携した研修の実施 **新**

埼玉県社会福祉協議会の研修センターが行う、福祉の研修に関する市町村職員の受講料を広域連合が負担することで、市町村の福祉人材の育成を支援する。